

科目名	医学総論			授業の種類	講義	講師名	
授業回数	8 回	時間数	15 時間	1 単位	必修・選択	必修	担当学年 時期 1年 前期
【授業の目的・ねらい】 言語聴覚士が医療従事者として知っておくべき医学・医療全般についての基礎的事項を理解し 国家試験に合格できる力を養う。							
【実務者経験】							
【授業全体の内容の概要】 言語聴覚士が医療従事者として知っておくべき医学・医療全般についての基礎的事項を理解できる。 国家試験に則した基礎知識を身につける。							
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 言語聴覚士が医療従事者として知っておくべき医学・医療全般についての基礎的事項を理解し、 説明することができる。							
回数	講義内容						準備物(教材)
1	健康の概念とQOLについて理解できる。						PC, PPT使用 プリント配布
2	生活機能と障害についてICFの理念を理解できる。						PC, PPT使用 プリント配布
3	ICFの機能分類について概要を理解できる。						PC, PPT使用 プリント配布
4	医の倫理とインフォームドコンセント、インクルージョン、ノーマライゼーションについて理解できる。						PC, PPT使用 プリント配布
5	チーム医療、地域医療、医療安全、EBMについて理解できる。						PC, PPT使用 プリント配布
6	人口・保健統計と疫学概念、健康管理(生活習慣, 予防医学)について理解できる。						PC, PPT使用 プリント配布
7	母子保健, 成人/老人保健, 精神保健, 環境保健, 感染症対策について理解できる。						PC, PPT使用 プリント配布
8	まとめ 国家試験に則した知識を整理できる。						PC, PPT使用
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
定期筆記試験							
【使用教科書・教材・参考書】 『ICFの理解と活用 KSブックレット』							
【準備学習・時間外学習】 予習としてテキストの該当箇所を読んでおく必要があります。また講義の復習が必要です。 国家試験過去問の自己学習が求められます。							
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する。 試験は定期試験のみ実施とし、 60点以上の場合に科目を認定する。							